だいもんしょう こ大門小 よい子のやくそく

また。 ないでは、からないでは、からこうせいかってある。 またのの基本

(1)学校生活に関係のないものは持ってきません。 例)キーホルダー、シール、カードゲーム等。 ※ミサンガやピアス等のアクセサリー類も、引っかかる等して危険な為、身に付けません。

2 登下校のやくそく

- (2)自分から進んであいさつをしましょう。
- (3)安全帽をかぶり、防犯ホイッスルを着用し、学校についたらランドセルの中に入れましょう。
- (4) 班長を先頭に、一列に並んで交通ルールを守って登校しましょう。 下校時も通学路を通って、広がらず安全に気を付けて帰りましょう。
- (5) 忘れ物があっても家にもどらず、先生に相談してみましょう。
- (6)通学班で決めた登校時刻を守りましょう。 ※8時5分に昇降口が開きます。
- (7)愛全のためフードはかぶらず、ポケットから手を出しましょう。

まさ じかん ちょうかい あさがくしゅう あさ かい 朝の時間・朝会・朝学習・朝の会のやくそく

- (8)クラスに着いたら名札を付け、宿題を出して、ランドセルを片付けましょう。
- (9)朝会のときは、クラス毎に移動して整列し、静かに待ちましょう。

4 休み時間のやくそく(5分休み、20分休み、お昼休み)

- (10)授業が始まる前に、次の授業の準備をしましょう。
- (11)ろう下は静かに右側を歩きましょう。ろう下では遊びません。
- (12)他の教室や特別教室には、先生の許可をもらってから入りましょう。
- (13)20分休みと昼休みに、関係のない学年のフロア(階)には行かないようにしましょう。
- (14)「休み時間の外遊びのきまり」を守りましょう。
 - ○木登り・体育館スロープでは遊ばないようにしましょう。
 - ○校庭に出るまでは、歩いて移動しましょう。
 - ※昇降口前など、コンクリートの部分は歩きましょう。
 - ○ハッピーファーム・体育館の裏には、子どもたちだけで行かないようにしましょう。
 - ○野鳥の森では木の根や岩につまずきやすいので、走る遊びはしないようにしましょう。
- (15)繁急の場合以外、ベランダや非常階段には出ません。
- (16)防火とびら、防火シャッター、リフトなど危険なところには近づきません。

きゅうしょく 給食のやくそく

- (17)手を洗い、全員が給食着を着て、手指の消毒をしましょう。
- (18)配膳前に、配膳台に消毒液をスプレーしましょう。配膳後は、台拭きできれいに拭きましょう。
- (19)配膳とおかわりの時は、全員マスクをつけましょう。
- (20)放送の合図があるまで、いただきますはしません。
- (21)口の中に物を入れたまま大きな声で話したり、立ち歩いたりしないようにしましょう。
- (22) 給食が終わったら、自分の席で歯をみがきましょう。
- (23)ワゴンは、基本的に全員片付け終わってから、ワゴンステーションに戻します。

6 清掃のやくそく

- (24)5分前のチャイムが鳴ったら、すぐに掃除場所へ移動しましょう。
 - ※1時25分には清掃場所に着いて、掃除を始めましょう。
- (25)掃除は、集中して取り組みましょう。
- (26)清掃時間を守り、早く終わったら他の清掃場所を手伝いましょう。
- (27)掃除が終わったら、振り遊りをしましょう。

7 帰りの用意・帰りの会のやくそく

- (28)名札を外して、決まった場所へ入れましょう。 ※1年生は、3学期から外しましょう。
- (29)下校時刻を守りましょう。 ※授業が終わってから、15分後が下校時刻です。
- (30)上ばきを持ち帰るときは、安全のために昇降口でぬぎましょう。
 - ※1年生は教室が1階なので、教室でぬいで昇降口へ行きましょう。

8 放課後・校庭利用のやくそく

- (31)自転車は、自転車置き場にきちんと置きましょう。
- (32)校庭に、お菓子やペットボトルを持ち込みません。 ※飲み物は水筒で持ってきましょう。
- (33)学校の校庭では、かたい野球ボール・バットを使ってはいけません。
- (34)さいたま市の放送がなったら、すみやかに帰りましょう。

 $(3 \hat{\beta} \sim 9 \hat{\beta} \hat{\beta} \hat{\beta} < 5 : 00$ まで。 $10 \hat{\beta} \sim 2 \hat{\beta} \hat{\beta} \hat{\beta} < 4 : 30$ まで です。)

- ※大人と一緒にいるときも、帰る時間は同じです。
- ※校庭は、大門小の子が遊ぶところです。他の学校の友達と遊ぶときは、公園で遊びましょう。
- ※大門小よい子のやくそくについては、児童の意見や考えを取り入れながら、より皆が気持ちよく過ごせるように見直しを図ってまいります。